

4-3 地下水（工事中の地下水位）

4-3-1 調査目的

評価書において、工事中の地下水位・地下水の流れについて、現況との変化がないか、また第一帯水層中の地下水位が、ピットの掘削深度より上位にまで上昇していないかを連続観測により監視するとしている。

本項目の事後調査は、工事期間中連続して水位観測を行うことにより、その影響の程度を把握することを目的とした。

4-3-2 調査内容

事後調査の内容は表4-7に、事後調査の地点は図4-6に示すとおりである。

表4-7 地下水（工事中の地下水位）に係る事後調査の内容

地下水位 調査 （工事中の 地下水位）	調査項目	地下水位
	調査期間	平成28年2月～平成30年3月の2年2ヶ月間
	調査地点	観測井戸4地点（図4-6参照）
	調査方法	井戸内に自記水位計を常時設置して、連続的な水位観測を行う。



観測状況

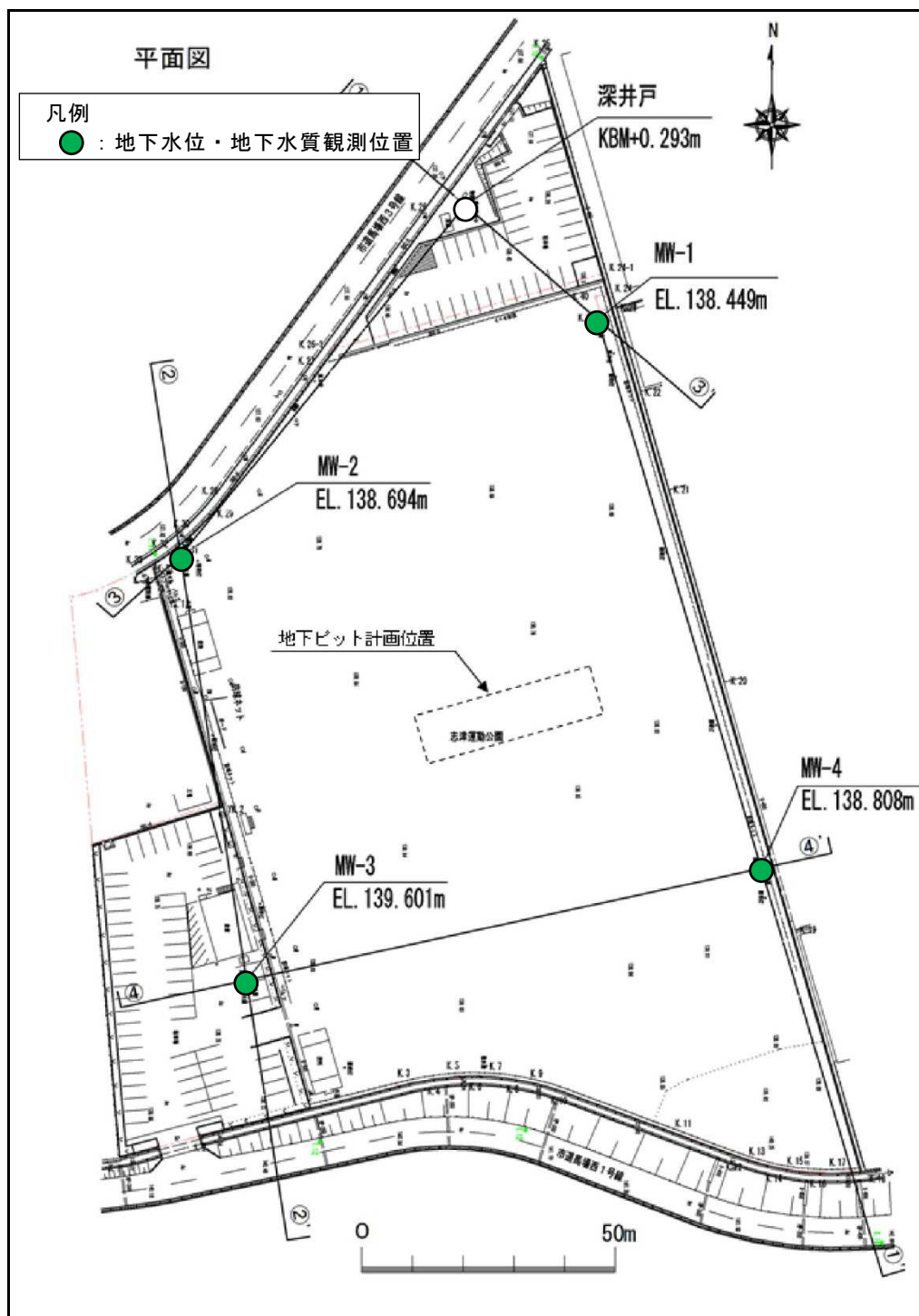


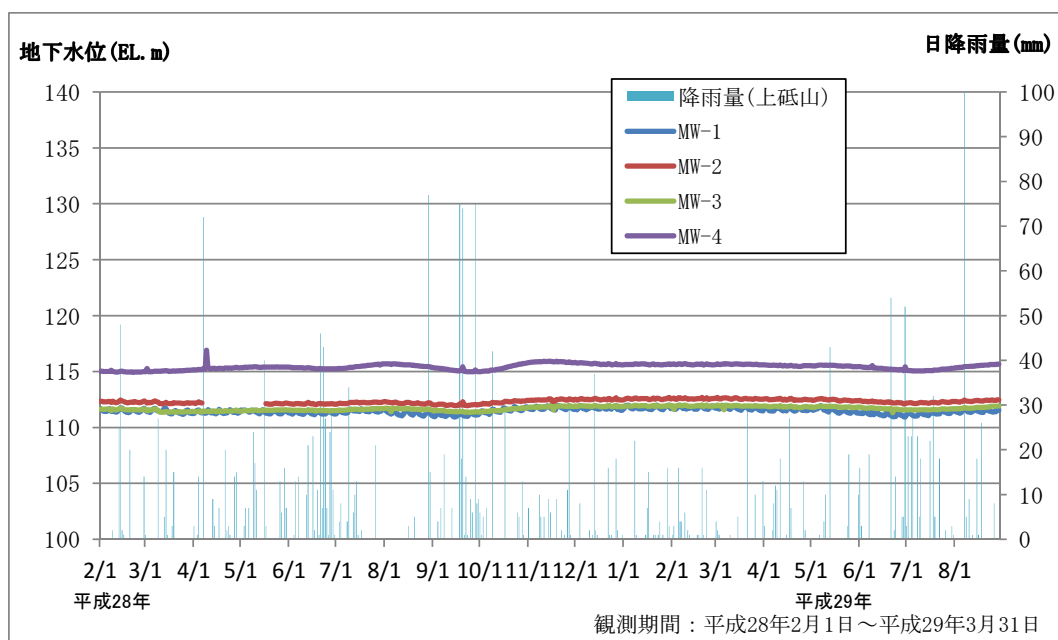
図4-6 工事中の地下水位・地下水水質観測地点

4-3-3 調査結果

水位観測の結果は、図4-7(1)～(2)示すとおりである。

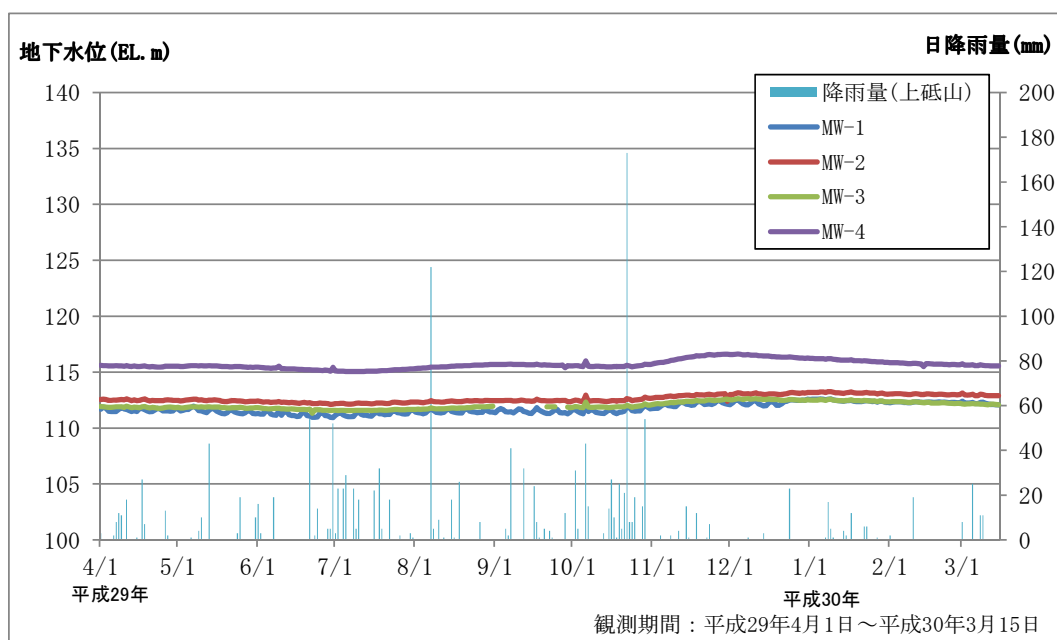
井戸の水位は、全ての井戸で、EL. 111m～117m程度の範囲で推移し、水位変化は小さかった。

なお、平成28年4月～5月及び平成29年9月に欠測期間があったが、欠測後の水位変動が欠測前と殆ど変わらないことから、欠測期間の水位変化は少なかったと考えられる。



MW-2の4月7日～5月16日は水位計の不具合により欠測

図4-7 (1) 井戸水位連続観測記録（平成28年2月1日～平成29年3月31日）



MW-3の9月1日～20日、9月25日～28日は、工事により井戸が破損する可能性があったため、水位計を一時撤去したため、欠測

図4-7(2) 井戸水位連続観測記録（平成29年4月1日～平成30年3月15日）

4-3-4 事後調査結果の検証

事後調査の結果、工事中の井戸水位に大きな変化はみられなかった。このことから、工事による地下水位への影響は小さかったと考えられる。